

対馬ちんぐ音楽祭2008

今年も日韓のチングが「対馬」にあつまってきました。



8月23日、「対馬ちんぐ音楽祭」が美津島総合公園（対馬グリーンパーク）芝生広場で開催され、会場には約千人の観客が訪れました。

海を背景にした特設ステージで、日韓のアーティストが音楽をとおして「両国の友好（ちんぐの輪）」を広げようといわれたもので、今回で13回目を迎えました。日本からは、この音楽祭が生まれた時から出演している小室等さん、特別ゲストとして元チューリップの財津和夫さん、テレビドラマ『L×I×V×E』の主題歌で有名になった八反安未果さん、2年連続出演のアマチュアバンドCANDY BOXさんの4組が参加しました。

韓国側からは10年ぶり2回目の出演になったイム・ジフンさん、初出演のIbadiさんの2組が参加し、言葉の壁を感じさせない演奏で見事に観客を引き込んでいました。

前日は、突発的な激しい雨風の影響でアーティストの来島が遅れ、予定されていたリハーサルもすべて翌日へ延期されましたが、チングへの熱い思いが通じたのが当日は、最高のコンディションとなりました。

開演前の受付には、多数の観客が詰めかけ午後4時、ちんぐ音楽祭の幕が開きました。今年は、財津和夫さんが出演し、テレビで聞きなれた歌を聴かせてくれました。



開演直後の受付の様子



演奏後に拍手をする多数の観客

観客は、懐かしい歌に聴き惚れてしまい、潮風漂う会場には、ゆったりと時間が流れているようでした。

最後は、おなじみ「チングソング」。一度聴いたら忘れられない歌詞とリズムが出演者と会場を包み込み、国と人と人の境界を超えた友情の輪が波紋のように広がっていました。

ちんぐとは



韓国語で「友達・仲良し」という意味であり、対馬でも同じ意味をもつ方言として広く使われています。お互いが、気兼ねなく何でも話せる友人として認め合える良きパートナーです。

ドラマ「ひとつ屋根の下」の主題歌で有名な「サボテンの花」や「青春の影」など往年の名曲を披露してくれました。本番では、ちんぐのスタッフTシャツを着て演奏、会場に行く際スタッフと間違えられたなど話してくれました。



財津和夫さん

アーティストの皆さんがそれぞれいいパフォーマンスを見せてくれました。僕はゲストよりスタッフとして今回楽しく出演しました。



小室等さん

今年も対馬に来てくれました。初回から出演し音楽祭には欠かせない存在です。

対馬でも友達ができ今後は日韓交流のお手伝いができたらうれしいです。きれいな自然の中で音楽祭ができて本当に楽しかったです。



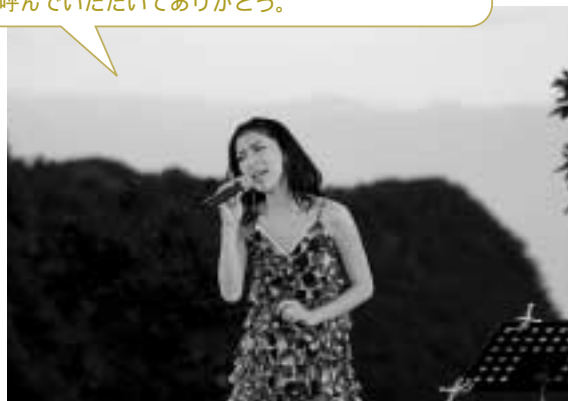
I b a d i さん

昨年に引き続き出演出来てふるさとに帰ってきたようで、プロの方と同じステージに立てて本当にうれしいです。



CANDY BOX さん

ものすごく温かい人たちの前で歌えて幸せでした。呼んでいただいてありがとう。



八反安未果さん

パワフルな歌声で観客を魅了

みんなの心が一つになる雰囲気は本当にすばらしいです。対馬のよい所を韓国でも自慢します。



イム・ジフンさん



日本歌謡大賞入賞者

プロに負けないぐらいの歌唱力、迫力のあるステージを披露してくれました。

美津島地域活性化センターが完成

県道の拡幅工事に伴い対馬市美津島地域活性化センターが新たに完成し、9月16日に開所式が行われました。

旧美津島支所裏駐車場（美津島町難知）に建てられた同センターは、地域支援課、住民生活課、会計課分室が置かれ、新たに消防署美津島出張所、消防団美津島第1分団が置かれた合同庁舎になりました。

総工事費は、1億7900万円、鉄筋コンクリート平屋建、のべ床面積は746.64㎡で、段差がなく高齢者、障害者に配慮した庁舎で、市民協働の拠点地としても広く期待されています。



新庁舎開所式



イカを慎重にさばく児童

実践では、イカ独特のさばき方に悪戦苦闘、中にはイカの墨で手が真っ黒になった児童もいて、さばき方の難しさを実感していました。4年生の桐谷真以さんは、「魚が思っていたより硬く、切れなかったからびっくりしました」と話してくれました。

魚の料理教室にチャレンジ

9月25日、金田小学校全児童（42名）が魚を自からさばいて料理を行う水産教室が行われました。この教室は、対馬地区漁業士会（会長吉村厚さん）が学校の協力を得て主催し、魚のさばき方や料理を体験することで漁業後継者の確保、水産業への理解そして魚食普及を図ることを目的として行われました。児童たちは、「ヒラス」「ヤリイカ」「さざえ」の3種類を材料にした鉄板焼きに挑戦。まずは、講師の谷本静枝さんが「ヒラス」と「ヤリイカ」のおろし方を実演。魚から内臓が取り出されると思わず「ウオー」と驚きの声が上がっていました。

救急功労者総務大臣表彰を受章

吉田内科医院院長 吉田茂幸さんが救急功労者の総務大臣表彰を受章しました。

吉田さんは、30数年来、対馬の医療に関わりながら救急問題解決の多難さを痛感し、1分1秒が急がれる救急搬送や本土への搬送、ドクターヘリ搬送など緊急医療の向上に尽力されました。特に、地域の人々にAED使用の重要性を説明するなど心肺蘇生法の実施、訓練にも力をいれ救急医療に対し多大な貢献をしました。栄えある受章を心からお祝い申し上げます。



99歳（白寿）おめでとうございます

大浦 末さん（上対馬町大浦）

99歳を迎えられた上対馬町大浦の大浦末さんに、対馬市から敬老祝い金を添えて褒状が贈られました。

明治42年9月20日生まれの末さんは、沢山の子供や孫、ひ孫に恵まれ現在、上対馬町大浦の老人保健施設「結石山荘」を利用されています。長生きの秘訣は「よう食べて、よう働くこと」と元気に話してくれました。これからも長生きしてください。



通報を受け指示を行う小島美香さん

救急車出場訓練を実施

9月9日、対馬市消防本部では、9月7日から13日の救急医療週間に合わせ、救急車の模擬救急出場訓練を実施しました。

一日救急隊長に大石建設対馬支店勤務の本石泰裕さんが、一日司令室長に同支店勤務の小島美香さんが任命されました。訓練では、119通報を受けた小島さんが救助隊員への出動司令や病院への連絡調整を行い、的確な通信業務を行うと本石さんは救急車に乗り込み現場へ急行。

救急患者の様態を確認するなど病院まで搬送する救急業務を体験しました。

一日救急隊長を務めた本石さんは「いかに救急の現場が大変かわくわかりました。私も仕事から危険と隣り合わせの仕事をしています。この経験を生かして事故がないよう努力し、会社のみならずにも報告したいと思います」と語ってくれました。



病院へ搬送を行う本石泰裕さん

対馬救急医療研究会



9月6日、対馬市交流センターで対馬市医師会と対馬保健所、市消防本部主催による救急医療研究会が開かれました。「対馬における集団傷病の対応」をテーマに、島内で実際に起こった事例が報告され、会場には約130人が参加しました。上対馬病院の野中孝一医師からは、比田勝沖で、国際旅客高速船が故障により航行不能となった時、船酔い等で体調を崩した傷病者29人を例に、船内で治療優先度を決めたことや、病院での受診状況など報告があり、外国人観光客の増加に伴う外国語の習得必要性などを指摘しました。

また、熱中症患者が多発したケースや対馬市の救急搬送の現状と集団救急事故について報告がありました。

ボランティア入門講座を開催

9月7日、峰町の中対馬開発総合センターにおいて、対馬市社会福祉協議会峰支所主催による「みんなのためのボランティア入門講座」が開催されました。中学生や福祉団体など約130名が参加し、長崎県レクリエーション協会の中島り子さんによる「お手玉講座」や寿々女会による日本舞踊などの催し物が行われました。

奉仕活動から始まったボランティア活動が、地域に暮らす人々の支援を行う地域福祉型へと輪を広げ、人間としての生き方をも見つめ直す意義のある講座でした。



内閣府特命担当大臣表彰を受賞



上対馬町泉地区のアジサイグループ（代表者立花通宏さん）が、内閣府特命担当大臣を受賞しました。この賞は、高齢者が社会とかわりを持ち、生き生きと充実した生活をおくる個人やグループに贈られるもので、親戚で構成する同グループは、現在16人、平均年齢64.4歳、内8人が65歳以上の高齢者。活動のきっかけは、泉地区の県道拡幅工事の際に、旧道路の桜並木が伐採され殺風景で季節感の無い道路沿いをなんとかしようと、親戚一同で、苗木を植栽したことが始まりです。その後15年間にわたり道路沿いにアジサイや桜の苗木を植栽、草刈りなど手入れをし、毎年花が咲く頃には、通行人の目を楽しませています。

長崎県大会

3年連続決勝進出

仁田ジュニア

ソフトボールクラブ



8月23、24日、時津町で開催された第35回長崎県少年ソフトボール大会で対馬代表として参加した仁田ジュニアソフトボールクラブが見事、準優勝を飾りました。

決勝戦では、チャンスで、あと一打がはず南島原代表の新切少年チームに3対0で惜敗しましたが、3年連続で決勝戦に進む輝かしい実績を残しました。

監督の春田真吾さん(36歳)は、「昨年はこの大会で初優勝をし、子供たちもプレッシ

ヤーを感じながらここまでやれたことは、一人一人が気持ちに負けない精神を培った証、子供たちを褒めて下さい」と話してくれました。

西日本大会で3位



表彰状を手にする阿比留貴穂さん(前列左端)

8月24日、福岡県田川市体育館において第20回西日本空手道選手権記念大会(松涛館空手道連盟主催)に国際松涛館空手道連盟対馬支部の部員5名が出場し、阿比留貴穂さん(対馬高校1年生)が見事3位に入賞しました。

この大会には、小学生から一般まで約500名が参加しており、大会前から怪我に悩まされなかなと思うような練

習ができなかった阿比留さんは、高校生や一般を相手に、順調に勝ち進みました。準決勝で惜しくも敗れましたが、見事銅メダルを獲得しました。また、同支部の部員もベスト8に入るなど健闘し、日頃の練習成果を十分に発揮しました。

ソフトボール大会 島内12チーム参加



優勝した西小ジュニアチーム

9月7日、美津島総合公園野球場で、第17回対馬駐屯地指令杯少年ソフトボール大会が行われました。この大会は青少年の健全育成の一環として行われ、今年は今島から12チーム、180名が参加しま

した。

白熱した試合が随所に見られ、家族の声援もいつの間にか、熱がこもっていました。

決勝戦は上対馬バイオレッツ対西小ジュニアで行われ8対3で西小ジュニアが優勝しました。

【大会結果】 優勝〃西小ジュニア 準優勝〃上対馬バイオレッツ 第三位〃船小フアイターズ(個人賞) 最優秀選手〃永留輝人(西小ジュニア) 優秀選手〃糸瀬晃大(上対馬バイオレッツ) 敢闘賞〃川上貢司(船小フアイターズ)

人事異動

10月1日付異動

氏名後の()内は旧所属

【市長部局】

《観光物産推進本部》 参事 兼課長補佐〃武末祥人(総務企画部地域振興課) 《総務企画部》 【総務課豆酛出張所】 参事兼課長補佐〃木内裕子(会計課) 《市民生活部》 【税務課】 参事兼課長補佐〃桐谷義壽(総務企画部総務課豆酛出張所) 《福祉保健部》 【南

福祉保健センター】 課長補佐〃杉原要(総務企画部総務課)

【教育委員会事務局】

【厳原地区生涯学習センター豆酛地区公民館】 (併) 参事兼課長補佐〃木内裕子(会計課)

【消防本部】 次長〃阿比留健(消防本部総務課長兼務を解く) 【総務課】 課長〃原田賢(福祉保健部南福祉保健センター) 主事〃畑島信一(市民生活部税務課)

新規採用職員紹介

8月1日より対馬市職員として採用されましたので紹介します。

消防本部 消防士



こ 吾 ぶん 昇 歳 (21)

出身 厳原町 趣味 魚釣り

抱負 気持ちだけではなく、知識、技術を兼ね備えた消防士になりたいです。